

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 2 月 12 日 (2021.2.12)

【公表番号】特表 2020-503389 (P2020-503389A)

【公表日】令和 2 年 1 月 30 日 (2020.1.30)

【年通号数】公開・登録公報 2020-004

【出願番号】特願 2019-556557 (P2019-556557)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/785 (2006.01)

A 6 1 K 31/045 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/785

A 6 1 K 31/045

A 6 1 P 17/00 1 0 1

A 6 1 P 43/00 1 2 1

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 12 月 25 日 (2020.12.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

表面を第 1 の液体組成物と接触させることと、

次いで、前記第 1 の液体組成物の少なくとも一部が前記表面に留まっている間に、第 2 の液体組成物が充填されたカチオン性コーティングを施した物品と前記表面を接触させることと、を含み、前記第 1 の組成物又は前記第 2 の組成物のうちの少なくとも 1 つ及び 1 つのみが、60 重量 % 以上の少なくとも 1 つのアルコールを含む、方法。

【請求項 2】

前記表面を前記第 1 の組成物と接触させる工程が、前記表面への噴霧、分注、浸漬、注液、又はこれらのいくつかの組み合わせにより、前記組成物を前記表面に適用することを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

第 2 の組成物が充填された前記カチオン性コーティングを施した物品に前記表面を接触させる前に、前記第 1 の組成物と接触している前記表面を機械的作用に供することを更に含む、請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記カチオン性コーティングを施した物品が、カチオン性コーティングを施した拭き取り布を含む、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 5】

前記カチオン性コーティングを施した物品が、グアニジニル含有ポリマーを含む、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 6】

前記グアニジニル含有ポリマーが、(a) グアニル化剤と、(b) カルボニル含有ポリマー前駆体又はアミノ含有ポリマー前駆体との反応生成物である、請求項 5 に記載の方法

o